

あぐりめ〜る新川

第43号(平成21年6月発行)
富山県新川農林振興センター
〒938-0801 黒部市荻生3200
(TEL) 担い手支援課 (0765) 52-0268
(0765) 52-5192
農業普及課 (0765) 52-0094
(0765) 52-0945
(FAX) (0765) 52-3115

育苗ハウスを利用した園芸生産のすすめ

～新たな品目の生産拡大～

農林振興センターでは、主穀作経営体の経営安定化や労働力の有効利用を目的に園芸を取り入れた複合経営の推進に取り組んでいます。中でも、育苗ハウスを利用したハウス白ねぎ、こまつな等の栽培が定着し、安定した生産が行われています。これに次いで生産が拡大しているみずなとプチパールについて紹介します。

1 サラダや鍋料理の定番野菜 ‘みずな’

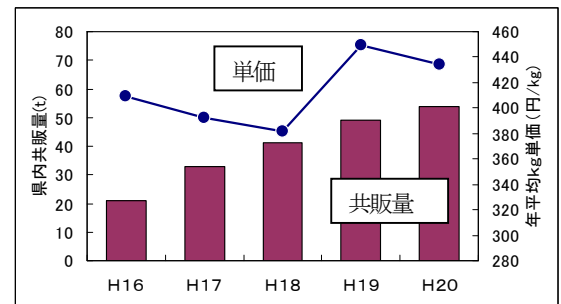
(1) 品目の特徴

初期投資が少なく、軽量野菜であるため、野菜栽培の初心者でも取り組みやすい品目です。

県内共販量も年々増加しており、単価も比較的安定しています。

(2) 栽培の特徴

- ・耐雪型ハウスであれば周年生産も可能で、春～夏まきであれば約30日程度で収穫出荷が可能です。
- ・害虫がつきやすいため、ハウスに防虫ネットを展張するなど害虫対策が必要です。
- ・1ハウス当たりの作付回数を多くするとともに、効率的な収穫調整作業を行うことが所得確保のポイントです。



みずなの県内共販量及び平均単価の推移

2 栄養豊富な注目野菜 ‘プチパール’

(1) 品目の特徴

青汁の原料であるケールと芽キャベツを交配してつくられた新しい野菜です。結球しない芽キャベツで、調理法も簡単で甘みもあって、おいしいと評判です。

(2) 栽培の特徴

- ・7月下旬～8月中旬に、株間を80～100cmと広めに定植します。倒伏防止のため、支柱か吊り紐が必要です。
- ・10月までに株をつくり、11月からは低温に遭わせて腋芽の形成を促す。その後、腋芽の発生が見られたら保温して腋芽を肥大させる。
- ・葉の付け根にできた腋芽が7～8cm位になったら収穫します。(収穫期間：12月上旬～3月中旬)



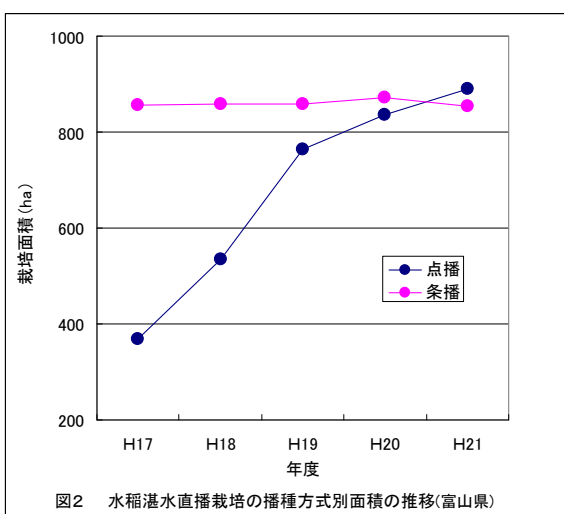
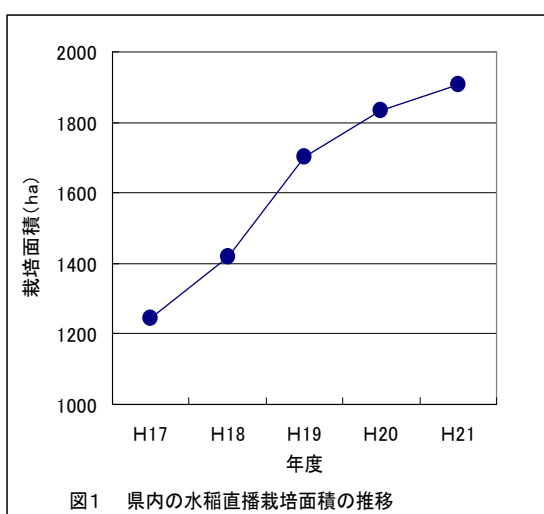
注意：水稻育苗時の播種同時施薬又はハウス内で箱施薬を行った場合は、農薬残留の恐れがあるので、野菜栽培を行わないでください。

水稻直播栽培の現状と栽培技術のポイント

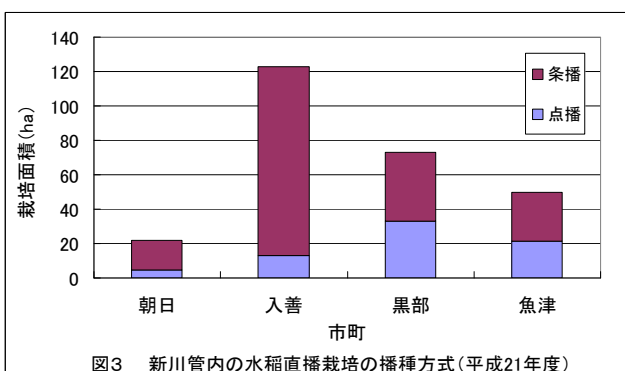
水稻直播栽培は、育苗作業の省略等による省力・低コスト化に加え作期幅の拡大等経営規模の拡大を図る上で有効な技術です。しかしながら、出芽・苗立ちや収量性が不安定で雑草及び鳥害等の影響を受けやすい一面もあります。このことを踏まえ、水稻直播栽培技術の確立に向けた取り組みの一端を紹介します。

1. 水稻直播栽培面積の推移

県内の水稻直播面積は、平成17年度の約1,250haから毎年約100haずつ拡大しており、本年度は約1,900haと水稻作付面積の約5%を占める状況になっています。播種方式別にみると、主流になっていた条播は約850haでほとんど横ばいであるのに対して、点播は平成17年度の約390haから2倍以上に急激に増加して約890haとなっています。これは株を形成するため外観が移植栽培に近いことに加え、機械の改良が進んだことが要因と考えられます。



新川管内についてみると、本年度の水稻直播栽培面積は約285haとほぼ前年並みで、播種方式別では、条播が約195haと全体の約70%を占めていますが、魚津市や黒部市では点播の割合が高くなっています。



水稻直播栽培では、どの播種方式であっても次の基本的な技術の実践が成功のポイントと言って過言ではありません。

2. 水稲直播栽培を成功させるためのポイント

(1) 出芽・苗立ちの確保

(ポイント①) ほ場の均平に努める。また、極端に溜まり水を生じている部分は、必要に応じて排水溝を切る。

(理由) 播種後に落水を行っても、ほ場の凹部など溜まり水が生じた部分の出芽は悪い。

(ポイント②) 代掻きを行った日から、砂壤土では2～3日、埴壤土では約4～5日後播種を行う。

(理由) 播種深度が深く (1cm以上) になると、出芽が悪くなる。

(ポイント③) 播種時に、ほ場の水量は極端に多くしたり少なくしない。また、時々、種子や肥料の落下量の確認を行う。

(理由) 播種時に種籾が十分覆土されない場合、浮き苗や転び苗が多くなる。



完全に覆土されなかった
悪い例



適切な水量での播種作業

(2) 適正な生育への誘導

(ポイント) 茎数 100 本/m を確保した時点 (6.5 葉期頃) で中干しを徹底する。

(理由) 分けつの発生が移植に比べて多くなりやすく、過剰な生育による品質低下や倒伏の危険が高い。



中干し開始時の稲の姿

表 510kg 穫り収量構成の目標値

収量構成要素	目標値
m ² 当たり穂数	390本
1穂籾数	70粒
m ² 当たり籾数	27,300粒
登熟歩合	85%
玄米千粒重	22.0g
10a 当たり収量	510kg

(3) 雑草の防除

(ポイント) 稲の葉齢を確認して除草剤は遅れずに散布する。

(理由) 除草剤効果を最大限に発揮させる。

研修会のご案内

～多数のみなさんのご参加をお待ちしています～

○集落営農講座

農業技術の習得と優れた経営者能力を有する人材の育成を図るために、集落営農組織のみなさんを対象に集落営農講座を開設します。

- ◆募集定員 経営管理コース、栽培管理コース各10名程度
- ◆受講料 各コース 1,000円/1人
- ◆受講資格 集落営農組織の構成員（リーダー、会計担当、後継者等）
- ◆実施計画



経営管理	日時	場所	講座内容
第1回 (開校式)	8月25日(火) 10:00～16:00	魚津地域職業訓練センター	パソコンによる基本設定(例題演習) 講師:(株)ソリマチ インストラクター
第2回	8月26日(水) 10:00～16:00	魚津地域職業訓練センター	パソコンによる記帳(記帳開始、仕訳の実際) 講師:(株)ソリマチ インストラクター
第3回	11月上旬 19:00～20:30	農林振興センター (黒部庁舎)	集落営農組織の労務管理と社会保険 講師:社会保険労務士
第4回 (閉校式)	11月27日(金) 19:00～20:30	農林振興センター (黒部庁舎)	集落営農組織の決算管理と経営分析の実際 講師:県農業技術課

栽培管理	日時	場所	講座内容
第1回 (開校式)	7月14日(火) 19:00～20:30	農林振興センター (黒部庁舎)	稲の生育と栽培管理のポイント 大豆の生育と栽培管理のポイント 講師:新川農林振興センター
第2回	8月7日(金) 14:00～15:30	農林振興センター (黒部庁舎)	集落営農組織における複合化の取組みについて (園芸作物導入組織現地視察研修) 講師:新川農林振興センター
第3回	8月20日(木) 14:00～15:30	農林振興センター (黒部庁舎)	水稻乾燥調製のポイントと農作業安全 講師:農業機械研修センター
第4回	11月6日(金) 14:00～15:30	農林振興センター (黒部庁舎)	トラクタの上手な使い方と点検整備のポイント 講師:全農富山県本部
第5回	11月13日(金) 19:00～20:30	農林振興センター (黒部庁舎)	環境にやさしい米作りと農薬の適正使用 講師:新川農林振興センター
第6回 (閉校式)	11月27日(金) 19:00～20:30	農林振興センター (黒部庁舎)	集落営農組織の決算管理と経営分析の実際 講師:県農業技術課

○環境にやさしい農業推進研修会

環境問題や安全・安心な農産物への社会的な関心が高まる中で、農産物の安全性を確保し、環境にやさしい農業の一層の推進を図るため、研修会を開催します。

- ◆日時及び場所 7月10日(金) 13:30～15:30 黒部市・うなづき友学館
- ◆内容 農作物の安全性確保と農薬の適正使用について
講師:(社)緑の安全推進協会 農薬安全相談室長 千野義彦氏
環境に優しい取り組みの事例紹介
- ◆参集者 管内エコファーマー、普及協力委員、関係機関担当者等



詳しいお問い合わせは
経営支援班へお願いします